

戸手学区まちづくり推進委員会

委員長 平田 隆信

（問合せ先） 0847-52-5539（戸手公民館）

## 事業内容

### ●地域まちづくり推進事業●

- |                                   |                 |
|-----------------------------------|-----------------|
| (1) 女性研修                          | ( 7月 5日 )       |
|                                   | ( 10月 17日 )     |
| (2) 環境教育事業                        | ( 3年度通年 )       |
| (3) とで志縁チーム活動                     | ( 3年度通年 )       |
| (4) 戸手学区ふれあい祭り                    | ( 未実施 )         |
| (5) きずな 話 和 輪                     | ( 2月22日～3月25日 ) |
| (6) 女性スポーツ大会                      | ( 3月12日 )       |
| (7) まちづくり講演会                      | ( 3月 6日 )       |
| (8) 子育て支援事業                       | ( 毎月第2金曜日 )     |
| (9) 広報活動『ふれあいとで』発行                | ( 年6回発行 )       |
| (10) 生活安全活動事業                     | ( 3年度通年 )       |
| (11) お困りごと相談電話事業                  | ( 3年度通年 )       |
| (12) 地域環境対策事業                     | ( 3年度通年 )       |
| (13) 安心・安全な地域防災                   | ( 3年度通年 )       |
| (14) 環境整備事業<br>(グリーンカーテン・ばら整備事業)  | ( 3年度通年 )       |
| (15) コミュニティー推進事業<br>(ゴミ分別・納税推進含む) | ( 3年度通年 )       |
| (16) 団体負担金（明るいまちづくり）              | ( 3年度通年 )       |
| (17) まちづくり推進委員会運営事業               | ( 3年度通年 )       |



子育て支援事業“子育てサロンバンビ”



女性スポーツ大会

## 成果

コロナ禍における事業推進の手法として分散開催などの新たな実施形態の模索や昨今の急激な気候変化への対策として、自主避難所開設ができるよう体制整備に取り組むことができた。

## 課題

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を見据えつつ、事業運営の在り方、中止行事をはじめとした事業の内容の見直し・再構築が大きな課題となっている。

## 課題解決にむけて

実施事業の内容と参加人員・参加形態の見直しを行い、コロナ禍という限られた条件の中でもより効果が得られるかたちでの事業となるよう工夫を行っていく。



環境整備事業  
ばら整備

# 笑顔もさつま芋も大収穫！

## つくり育てる喜びに新たな発見……

5月半ば、戸手小学校近くの畑において、戸手学区まちづくり推進委員会の有志数名と戸手小学校2年生の児童たちにより、苗の植え付け作業を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ボランティアスタッフと先生で植え付けを行いました。児童には、さつまいも苗130本、キュウリ、オクラ、なす、ピーマンの苗各8本を植え付ける動画を配信しました。動画を見守った児童は、その後も自らで観察、水やり、草取りを行い、苗はよりすくすくと生育しました。10月中旬、児童たちは大きく育ったさつま芋に目を丸くして驚くとともに収穫の喜びに歓声をあげていました。

小学校の児童と一緒にさつま芋の苗植え、収穫を行うといった戸手学区まちづくり推進委員会の取組は、子どもたちが毎日口にしている野菜を育てることの手間と成長する喜びを体験し、食の大切さを感じてもらいたいとの小学校の思いを受けて約15年前から始まったものです。

なお、今までは獣害はありませんでしたが、昨今、周辺でイノシシ、アライグマ、たぬきが出没しており、児童たちの収穫の夢が奪われないよう対策をしまりたいと考えています。

さつま芋の体験学習のスタッフも高齢化になっていますので、子どもたちの喜び歓声と笑顔を見たい方はぜひ一緒に参加してみませんか。



『やさしく  
やさしく  
掘るんよ』



『そろそろといていねいに』



『見て、  
こんなに大きなお芋』